

2018年11月映画興行部門興行成績速報

11月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

687スクリーン **興行収入** **5,489,947,758 円** (前年比 129.3%)

11月主要稼働作品

『スマホを落とすだけなのに』『GODZILLA 星を喰う者』『億男』『ボヘミアン・ラプソディ』『名探偵コナン ゼロの執行人』『ヴェノム』『ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生』『ういらぶ。』『映画Hugっと！プリキュアふたりはプリキュア オールスターズメモリーズ』『search／サーチ』『ジョニー・イングリッシュ アナログの逆襲』『人魚の眠る家』『旅猫レポート』『Burn the Stage : the Movie』『ポリス・ストーリー REBORN』『華氏119』『ビブリア古書堂の事件手帳』『走れ！T校バスケット部』『ANEMONE / 交響詩篇エウレカセブン ハイエボリューション』『souvenir the movie ～MARIYA TAKEUCHI Theater Live～』『くるみ割り人形と秘密の王国』『機動戦士ガンダムNT』『ヘレディタリー 継承』『続・終物語』『デス・ウィッシュ』他

1月から11月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **61,370,982,316 円** (前年比 100.2%)

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上